

# 企業が行う I R 活動に関する調査 2021

機関投資家・アナリスト向けアンケート

コンサルティング部

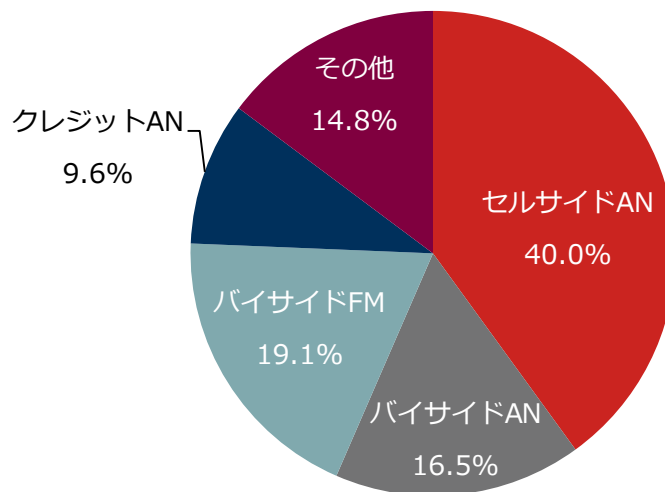
2022年2月

■調査概要と回答者属性	P3
■企業のIR活動の変化とそれに対する評価	P10
■企業の情報発信内容・手段について	P16
■Webサイトや各種レポートなどの情報発信について	P27
■企業分析・銘柄選定に関する考え方等について	P31
■企業のESG/サステナビリティ開示について	P36

# 調査概要と回答者属性

## 調査概要と回答者属性

調査の目的	機関投資家・アナリストからみた企業のIR活動に関する意見を多面的に収集
調査対象	野村IRリスト登録者：1,912人
調査期間	2021年12月13日～2022年1月13日
調査方法	Webアンケート
有効回答総数及び回答率	回答総数：115件／送付件数に対する回答率：6.0%（前年比-0.7%）



N=115

本資料は、ご参考のために野村インベスター・リレーションズ株式会社が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、野村インベスター・リレーションズ株式会社はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は野村インベスター・リレーションズ株式会社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

## 質問一覧①

■企業が行うIR活動についてご意見をお聞かせください。

Q1. 企業のIR活動を取り巻く環境は大きく変化をしていますが、この1年間の企業のIR対応に変化を感じましたか（回答はひとつ）

また、そのように感じた理由をお聞かせください。

A1. 1) 大きく進化した 2) やや進化した 3) 変わらない 4) やや後退した 5) 大きく後退した  
理由 ( ) 全角64文字以内

■企業の情報発信内容・手段についてお尋ねします。

Q2. 四半期決算時の企業の情報発信方法について、望ましいと思われるコミュニケーション手段をお聞かせください。（複数回答）

A2. 本決算期 ( ) 第2四半期 ( ) 第1・第3四半期 ( )

- 1) 会場開催のみ
- 2) テレフォンカンファレンス
- 3) ライブ配信によるWEB説明会（Q&Aを含む）
- 4) ハイブリッド開催（会場開催と、テレフォンカンファレンス・ライブ配信によるWEB説明会等の併設方式）
- 5) 決算説明のオンデマンド動画・音声の掲載
- 6) 読み原稿（ノート付）の決算説明資料の掲載
- 7) 決算説明資料の掲載
- 8) スモールミーティング
- 9) 個別訪問
- 10) 電話対応
- 11) その他 ( ) 全角32文字以内

Q3. 決算説明会（会場開催、テレフォンカンファレンス、ライブ配信によるWEB説明会）についてお聞きします。

説明会の資料及びプレゼンテーションで充実または追加して欲しい内容について、該当する項目を選択ください。（3つまで選択）

- A3. 1) 基本的な企業情報（事業内容・ビジネスモデルなど）
- 2) 企業のコア・バリュー（ビジネスモデル・自社の優位性や強みの解説）
  - 3) 業界情報（業界内のトレンド、シェア、技術情報やマーケット環境の変化など）
  - 4) 前期決算（直近実績）の詳細情報（利益増減要因分析など）
  - 5) 短期（今期）業績見通しに関する情報
  - 6) 中期経営計画の進捗状況
  - 7) 資本政策・株主還元策など
  - 8) ESG・無形資産など非財務情報
  - 9) 長期的に目指す姿、ビジョンなど
  - 10) その他 ( ) 全角32文字以内

## 質問一覧②

- Q4. あなたが所属する機関の調査・運用体制について、この1年間変化はございましたか。さしつかえなければ、お聞かせください。（回答はひとつずつ）
- A4. 【アナリスト数】 1) 大幅に増えた 2) やや増えた 3) 変わらない 4) やや減った 5) 大幅に減った  
 【ファンドマネージャー数】 1) 大幅に増えた 2) やや増えた 3) 変わらない 4) やや減った 5) 大幅に減った  
 【レーティング期限】 1) 長期化した 2) 短期化した 3) 変わらない
- Q5. 昨年コロナ対策として決算説明会のオンライン化が進みましたが、今後一番好ましい開催方を教えてください。（回答はひとつ）
- A5. 1) 会場開催を希望  
 2) ライブ配信によるWEB説明会・テレフォンカンファレンス等のオンライン開催を希望  
 3) ハイブリッド（会場開催とテレフォンカンファレンス・WEB等の併設方式）開催を希望  
 4) どちらでも構わない
- Q6. ライブ配信によるWEB説明会（WebEx、Zoom等）参加にあたり、システム上の制限はありますか。（回答はひとつ）
- A6. 1) 問題無く視聴できる  
 2) 特定のシステムのみ視聴できない（システム名： ）  
 3) 視聴できない

## 質問一覧③

■ Webサイトや各種レポートなどの情報発信についてお尋ねします。

Q7. 企業Webサイトには、何をするために訪問しますか（複数回答）

- A7. 1) 企業体質や雰囲気の直感的な把握  
 2) 強みや成長力分析のための材料集め  
 3) ビジネスモデルの理解  
 4) 事業やサービスの理解  
 5) 経営計画の確認  
 6) トップの哲学や考え方の確認  
 7) 決算財務資料の確認  
 8) ESG要素の確認  
 9) 会社基本情報の確認  
 10) その他 ( )  
 11) そもそもWEBサイトは見ない

Q8. 決算説明会の動画（音声）配信の閲覧について、ご意見をお聞かせください。（回答はひとつ）

- A8. 1) 2021年度より前から頻繁に利用  
 2) 2021年度から頻繁に利用  
 3) 時々利用  
 4) ほとんど利用しない  
 5) 利用したことがない

Q9. 決算説明会以外の動画（音声）コンテンツについて、掲載されていれば利用したいと思うものがあればお聞かせください。（3つまで選択）

- A9. 1) 個人投資家説明会  
 2) トップインタビュー  
 3) IR担当役員や担当者による決算概況などの説明  
 4) 開発担当者など、IR担当以外の役員や担当者による商品・技術解説  
 5) 株主総会  
 6) 会社紹介（事業紹介・工場見学）  
 7) 過去の決算説明プレゼンテーション  
 8) その他 ( ) 全角64文字以内

■ 企業分析・銘柄選定に関する考え方等についてお尋ねします。

Q10. 2022年に市場区分の見直しが行われる予定ですが、  
 継続フォロー（カバレッジ）の基準として「市場区分」を基準とされる予定の場合には以下より選択してください。（回答はひとつ）

- A10. 1) プライム市場のみ 2) スタンダード市場以上 3) グロース市場含む全市場 4) 市場区分を基準にする予定はない

## 質問一覧④

Q11. 新しい投資銘柄を探す時、活用する情報源を教えてください。（3つまで選択）

- A11. 1) セルサイドアナリストのレポート  
 2) スポンサーレポート  
 3) 決算説明会・会社説明会の案内及び出席  
 4) スモールミーティングの案内及び出席  
 5) 企業側からの直接アプローチ  
 6) ニュース（媒体問わず）  
 7) 日経ビジネスや東洋経済などのビジネス誌  
 8) 日経新聞・日経MJなどの一般紙や各種業界紙  
 9) 財務及び市場データなど公表データのスクリーニング  
 10) イベント（具体的に： \_\_\_\_\_） 全角32文字以内  
 11) その他（ \_\_\_\_\_） 全角32文字以内

Q12. 関心を持った投資銘柄の、さらに詳しい情報を得るために活用する情報源を教えてください（3つまで選択）

- A12. 1) セルサイドアナリストのレポート  
 2) スポンサーレポート  
 3) 決算説明会・会社説明会の案内及び出席  
 4) スモールミーティングの案内及び出席  
 5) 企業側からの直接アプローチ  
 6) ニュース（媒体問わず）  
 7) 日経ビジネスや東洋経済などのビジネス誌  
 8) 日経新聞・日経MJなどの一般紙や各種業界紙  
 9) 財務及び市場データなど公表データのスクリーニング  
 10) イベント（具体的に： \_\_\_\_\_） 全角32文字以内  
 11) その他（ \_\_\_\_\_） 全角32文字以内

Q13. 中期経営計画の内容充実に向けて改善すべきものをお聞かせください。（3つまで選択）

- A13. 1) 長期的な経営ビジョン・スタンス  
 2) 事業環境や見通しに関する分析を踏まえた戦略  
 3) 最終年度の具体的な財務数値目標  
 4) 計画期間内での段階的な数値目標  
 5) ESGなど非財務目標  
 6) 財務目標と非財務目標の紐づけ  
 7) 財務方針  
 8) 資金使途の説明  
 9) 株主還元方針  
 10) 計画の進捗状況と見直しの実施

## 質問一覧⑤

### ■企業のESG/サステナビリティ開示についてお尋ねします

Q14. 企業のサステナビリティ（ESG要素を含む中長期的な持続可能性）を見るうえで何を重視しますか（3つまで選択）

- Q14
- 1) 価値創造ストーリー
  - 2) 経営陣によるメッセージ
  - 3) 非財務指標
  - 4) 気候変動への取り組み
  - 5) 人的資本への取り組み
  - 6) 知的資本への取り組み
  - 7) 中核人材の多様性
  - 8) 人権への取り組み
  - 9) 取締役の多様性・実効性
  - 10) コーポレートガバナンス体制
  - 11) 事業ポートフォリオに関する方針、考え方

Q15. 企業のサステナビリティ（ESG要素を含む中長期的な持続可能性）を知るための情報源として何を活用していますか（複数選択）

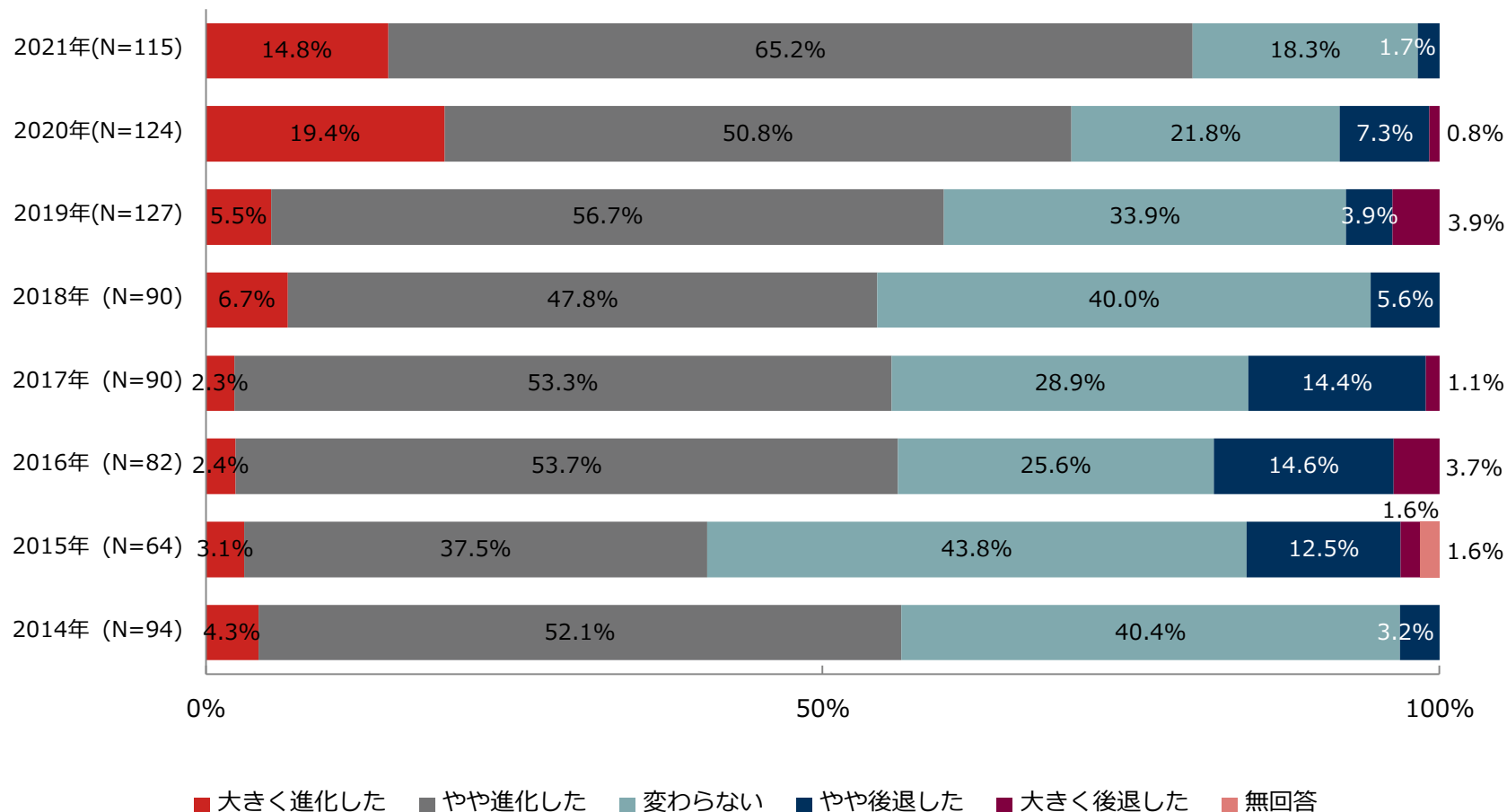
- A15
- 1) ESG説明会
  - 2) 事業説明会
  - 3) 「サステナビリティ」関連ウェブサイト
  - 4) サステナビリティレポート
  - 5) 統合報告書
  - 6) 有価証券報告書
  - 7) コーポレートガバナンス報告

# 企業のIR活動の変化とそれに対する評価

# 企業のIR活動の変化

2021年は昨年に引き続き、「大きく進化」「やや進化した」が高い割合に

この1年間で企業側のIR活動に変化を感じましたか？



本資料は、ご参考のために野村インベスター・リレーションズ株式会社が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、野村インベスター・リレーションズ株式会社はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は野村インベスター・リレーションズ株式会社に属しており、電子的手段は機械的な方法を開かず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

## IR活動における変化の理由は何ですか？

「大きく進化した」を選択した理由	
ESGやカーボンニュートラル等の取り組みについての開示がスタンダードになってきた。	セルサイドAN
IRを積極化している企業が増加しているうえ、株主還元にも積極的になっている企業が増えているように思います。	セルサイドAN
リモートでのIR活動を積極化するところが増えてきた	セルサイドAN
オンライン説明会の方が効率的	セルサイドAN
監査報告書でKAM（監査上の重要事項）の開示が始まった。非常に読み応えがある。サステナビリティ開示も徐々に内容が進化している。	セルサイドAN
説明会、取材ともにリアルとリモートを柔軟に使い分けられている。統合報告書も年々進化している。	セルサイドAN
オンライン化したことにより、公開・開示されるものが一気に増えた印象を受けているため。	セルサイドAN

「大きく進化した」を選択した理由	
WEBでの参加がより増えて効率的なリサーチ活動が可能になりました。	バイサイドAN
開示姿勢が総じて積極化しているように感じる	バイサイドAN
東証改革、サステナビリティ、ESG	バイサイドFM
ESGに関する開示内容が増加したため	クレジットAN
動画配信が増えた	その他

## IR活動における変化の理由は何ですか？

「やや進化した」を選択した理由	
投資家の理解を促す努力をする企業が増えた印象	セルサイドAN
オンライン説明会の開催	セルサイドAN
web配信が進んだ	セルサイドAN
毎年進化をしているが一昨年から昨年の変化に比べると変化量は少なかったと感じるから	セルサイドAN
KPIや非財務情報の開示が増加したように感じております	セルサイドAN
Zoomなどの活用が進んだ	セルサイドAN
コロナ対応オンラインMTGの常態化の副産物として、IR資料の充実が進んでいる。	セルサイドAN
決算説明会の内容などを企業HP上でも公開するところが増えた	セルサイドAN
オンライン形式の普及が進んだ	セルサイドAN

「やや進化した」を選択した理由	
説明会や取材において、事業会社側でもZoomをはじめとしたツールの利用が一般化し、ウェブミーティングが従来よりも容易になった。	セルサイドAN
定型的な開示資料に加えて、補足資料が追加されるケースが見受けられた	セルサイドAN
デジタル化が進んだことにより、IR活動に対する姿勢が積極的になったように感じる	セルサイドAN
オンラインをうまく使用したIR対応が目立つため	バイサイドAN
非財務情報	バイサイドAN
オンライン、電話が多くなった。	バイサイドAN
コーポレートガバナンスコードへの対応やESG情報の開示などが進展しているため。	バイサイドAN
決算説明会のオンライン配信の対応が進んだ。	バイサイドAN
オンライン対応が進んだ	バイサイドAN
WEBと会場の両方での説明会開催、リモートでの個別取材など企業側の体制・対応が昨年よりも整ってきたと感じている。	バイサイドAN

本資料は、ご参考のために野村インベスター・リレーションズ株式会社が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、野村インベスター・リレーションズ株式会社はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は野村インベスター・リレーションズ株式会社に属しており、電子または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

# 企業のIR活動の変化

## IR活動における変化の理由は何ですか？

「やや進化した」を選択した理由	
時価総額が小さい企業でも情報開示に対する意欲が感じられるようになったため	バイサイドAN
ESGへの取り組み強化	バイサイドFM
dx	バイサイドFM
web 電話などオンラインが増加	バイサイドFM
決算説明会のWeb化の浸透	バイサイドFM
WEB 動画配信の対応増加	バイサイドFM
オンラインIRをスムーズに運営されるようになった。	バイサイドFM
大半の企業（投資法人）のIR活動が多様化し改善している一方、一部ではフェアディスクロージャーに問題も感じられた	バイサイドFM
ESG関連の情報開示や、ネットを活用した説明会などが増えた。	クレジットAN
ESGの開示が増えた	クレジットAN

「やや進化した」を選択した理由	
投資家向けの説明会の内容が以前よりも充実してきたのと、ESGへの取り組み等の説明会も増え、企業側からの情報発信が増えた。	クレジットAN
WEB開催が増えた。	クレジットAN
大半の企業でWeb説明会が導入されたため。	その他
これまで決算説明会を行なっていなかった企業が説明会を始める動きが見受けられる。多くの企業がコロナ感染防止のためウェブ説明会の開催に移行する一方、未だに会場開催のみに固執している企業とに対応が分かれている。	その他
感染対策のためとは言え、オンライン開催が増加し、より多くの聴き手に門戸を開放するようになったとの印象があるため。	その他
オンライン説明会が増加した。	その他
WEB決算説明会が普及し、開示意欲の旺盛な発行体が増えた印象	その他
WEB説明会の増加	その他
統合報告発行など情報開示が積極化。投資家の意見に耳を傾ける度合いも高まった。	その他
直接対話件数の増加、統合報告書発行の増加、ESG説明会の増加などによる	その他

本資料は、ご参考のために野村インベスター・リレーションズ株式会社が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、野村インベスター・リレーションズ株式会社はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は野村インベスター・リレーションズ株式会社に属しており、電子または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

# 企業のIR活動の変化

## IR活動における変化の理由は何ですか？

「やや進化した」を選択した理由	
ESGや資本コストに関する開示が進んだ。	その他
IR説明会を初めて開催する企業が多くなっている。	その他
説明会のウェブや電話会議（対面とのハイブリッド）開催が定着した。	その他

「やや後退した」を選択した理由	
IR直通電話に応答のない会社が増え代替の連絡方法も知らされなかった。	バイサイドAN
オンラインのみの開催が増加したため	バイサイドFM

「変わらない」を選択した理由	
ほとんど非対面となったが、本質的な変化はない。	セルサイドAN
WEB説明会等は増えたがそれだけで、本質的なものに変化はないから。	セルサイドAN
進化した部分と退化した部分があるから相殺	セルサイドAN
特に変化を感じないため	セルサイドAN
現在の業務就いたのが今年度なので、過去比較ができません。	クレジットAN

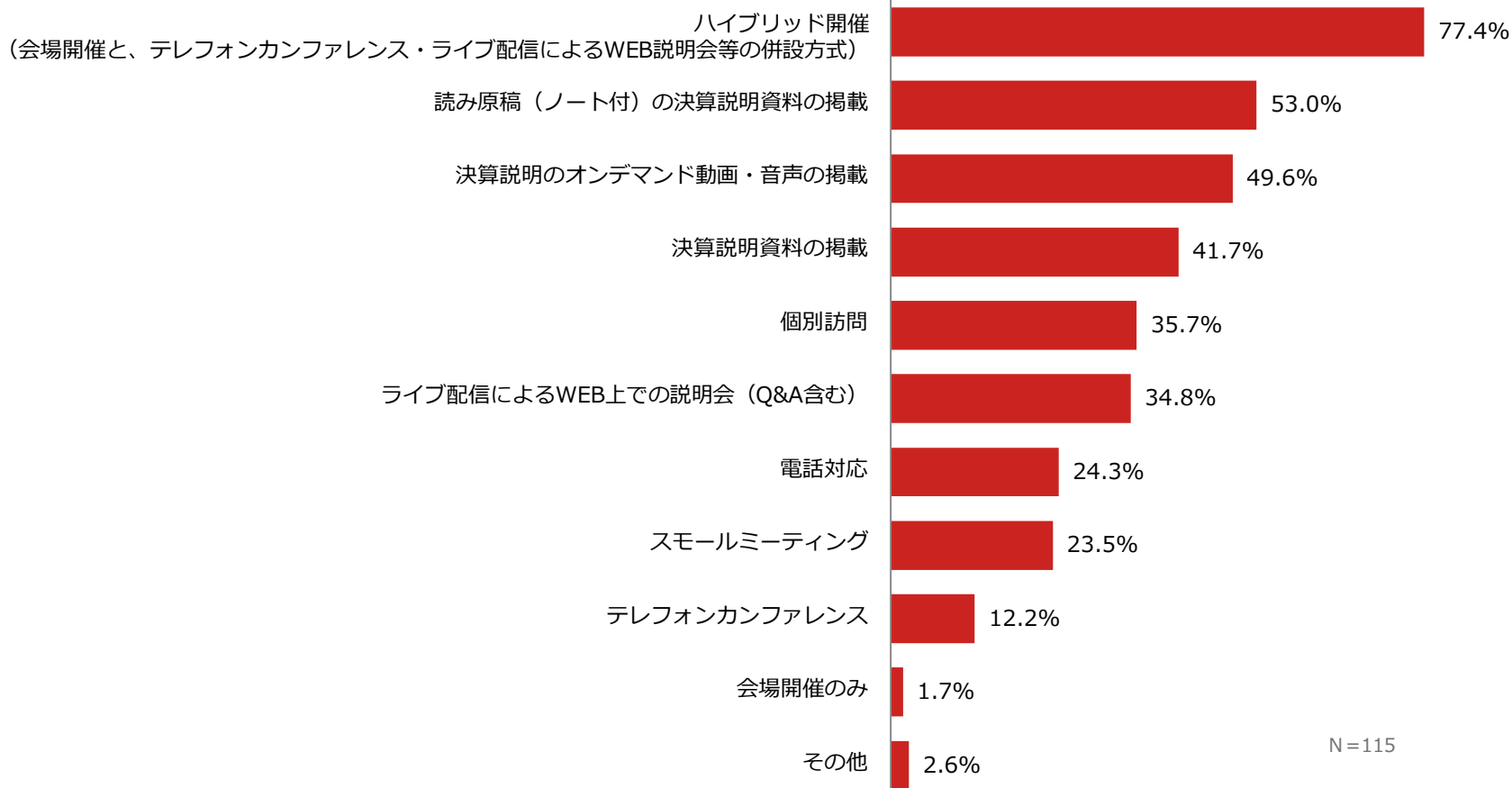
本資料は、ご参考のために野村インベスター・リレーションズ株式会社が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、野村インベスター・リレーションズ株式会社はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は野村インベスター・リレーションズ株式会社に属しており、電子的または機械的方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

# 企業の情報発信内容・手段について

## 企業に求める四半期ごとの情報発信方法（本決算）

本決算期では「ハイブリッド開催」が最も多くなっており、「読み原稿（ノート付）の決算説明資料の掲載」「決算説明のオンデマンド動画・音声の掲載」が続く

決算時の企業の情報発信方法について、「望ましい」と思われるコミュニケーション手段は何ですか？（複数回答）

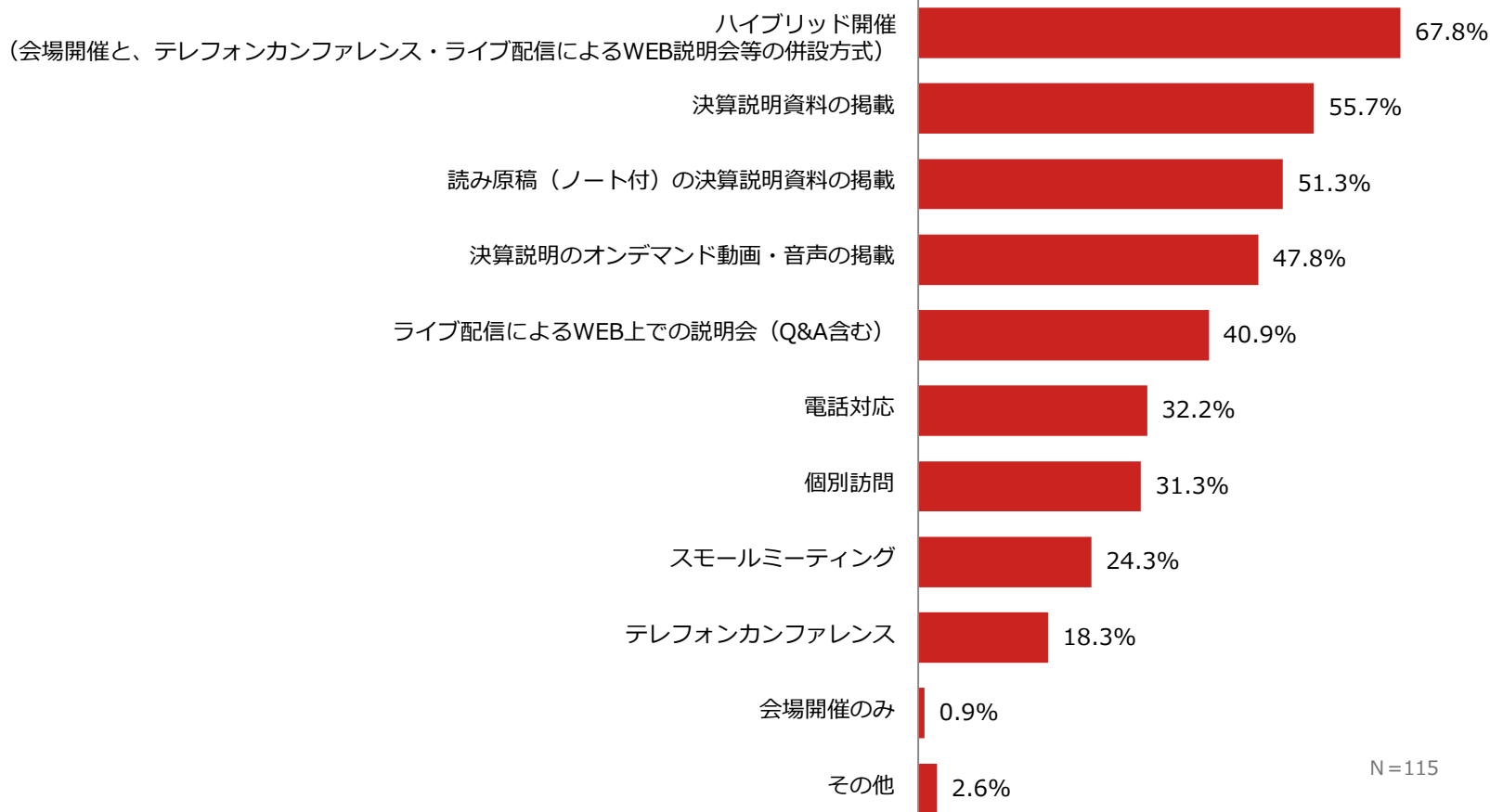


本資料は、ご参考のために野村インベスター・リレーションズ株式会社が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、野村インベスター・リレーションズ株式会社はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は野村インベスター・リレーションズ株式会社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

## 企業に求める四半期ごとの情報発信方法（第2四半期）

第2四半期でも「ハイブリッド開催」が最も多く、「決算説明資料の掲載」「読み原稿（ノート付）の決算説明資料の掲載」と本決算に比べ資料掲載の比率が上昇

決算時の企業の情報発信方法について、「望ましい」と思われるコミュニケーション手段は何ですか？（複数回答）

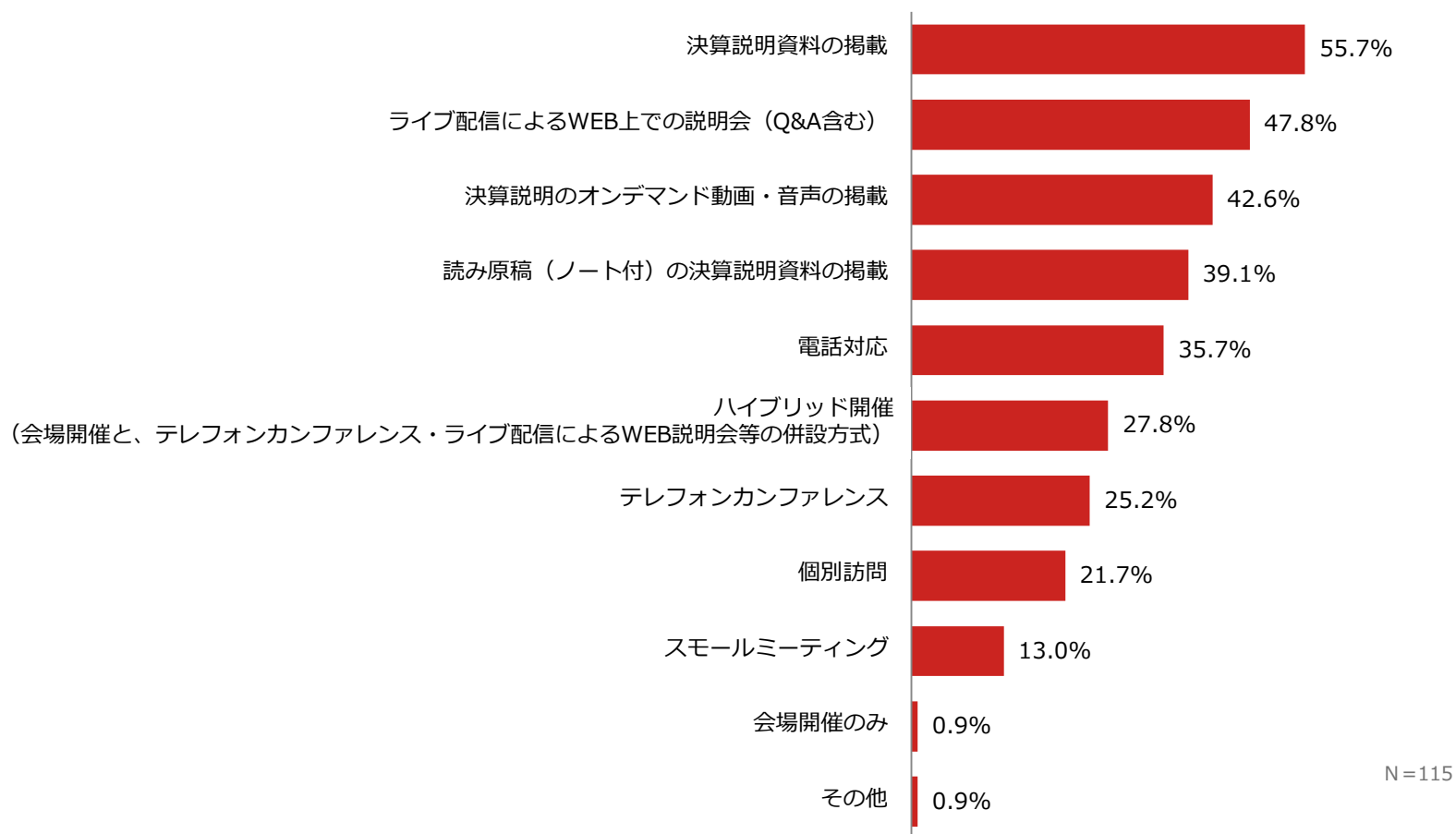


本資料は、ご参考のために野村インベスター・リレーションズ株式会社が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、野村インベスター・リレーションズ株式会社はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は野村インベスター・リレーションズ株式会社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

## 企業に求める四半期ごとの情報発信方法（第1・第3四半期）

第1・第3四半期では「決算説明資料の掲載」が最も多くなっており、「ライブ配信によるWEB上での説明会（Q&A含む）」「決算説明のオンデマンド動画・音声の掲載」が続く。「ハイブリッド開催」の割合は低下

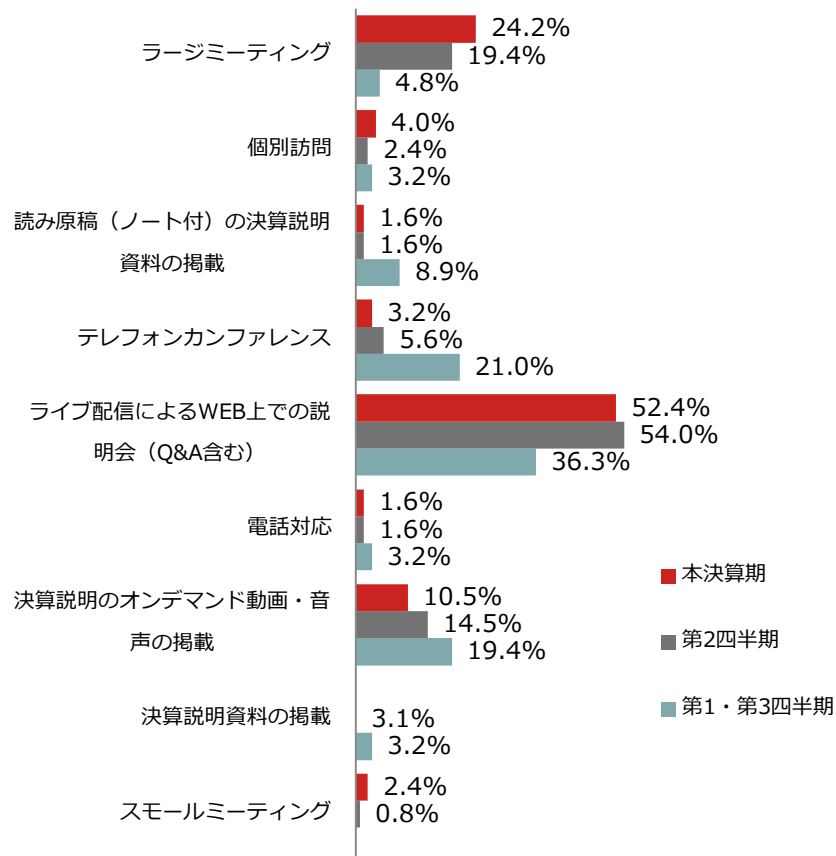
決算時の企業の情報発信方法について、「望ましい」と思われるコミュニケーション手段は何ですか？（複数回答）



本資料は、ご参考のために野村インベスター・リレーションズ株式会社が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、野村インベスター・リレーションズ株式会社はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は野村インベスター・リレーションズ株式会社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

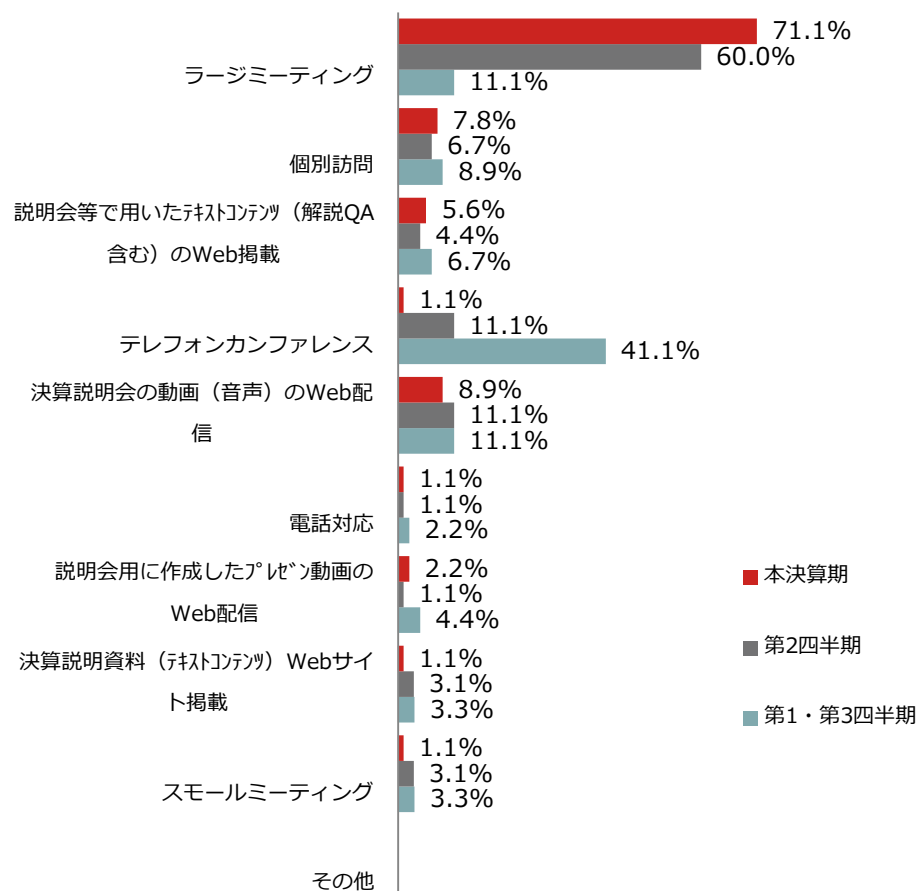
# 企業に求める四半期ごとの情報発信方法（参考）

## 2020年調査



N=124

## 2019年調査

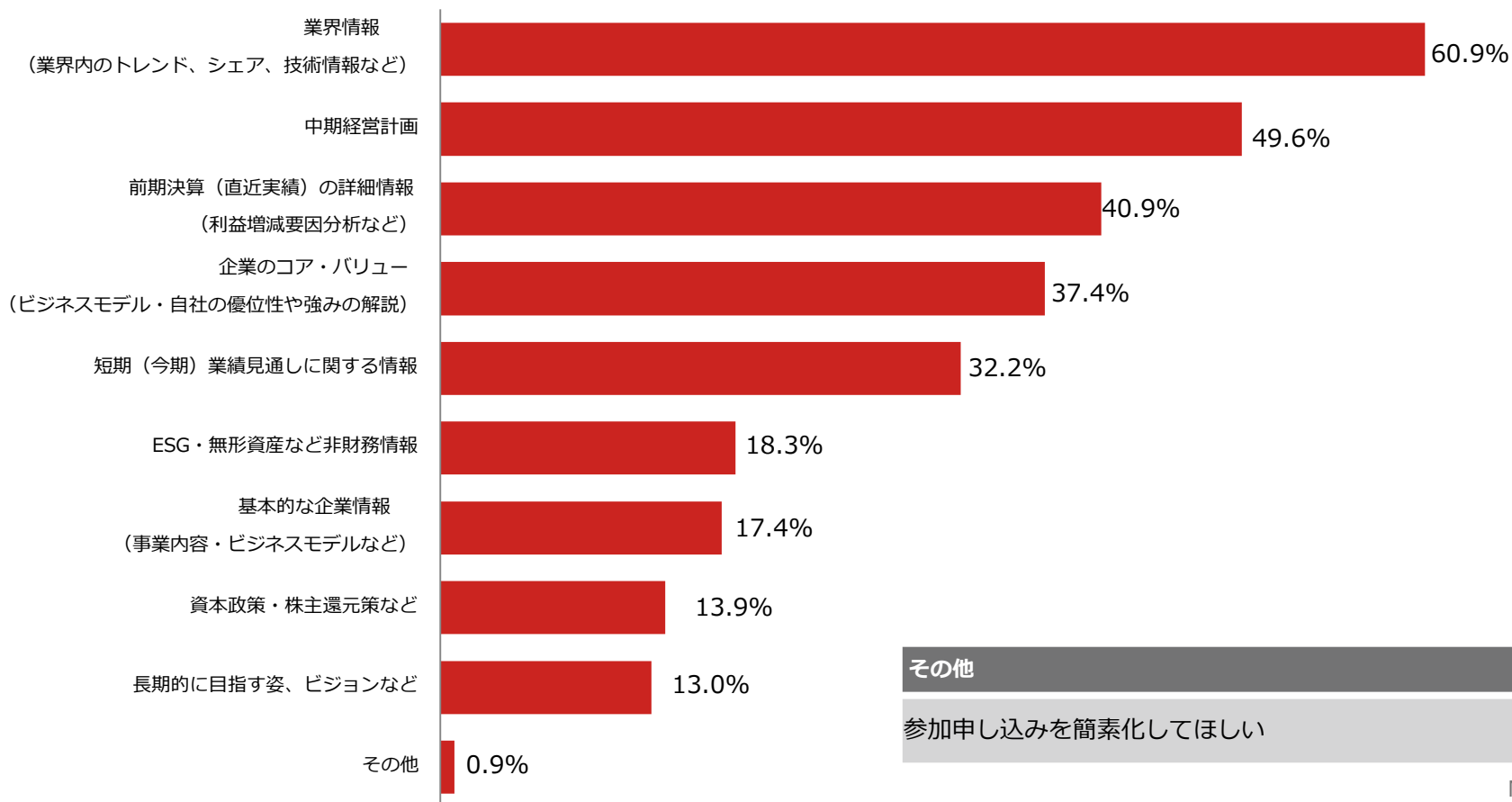


N=127

# 説明会資料及びプレゼンテーションで充実を希望する内容

「業界情報」を望む回答が多く、昨年比で「中期経営計画」の割合が増加している

説明会の資料及びプレゼンテーションで充実または追加して欲しい内容は何ですか？ 該当する項目を3つまで選択ください



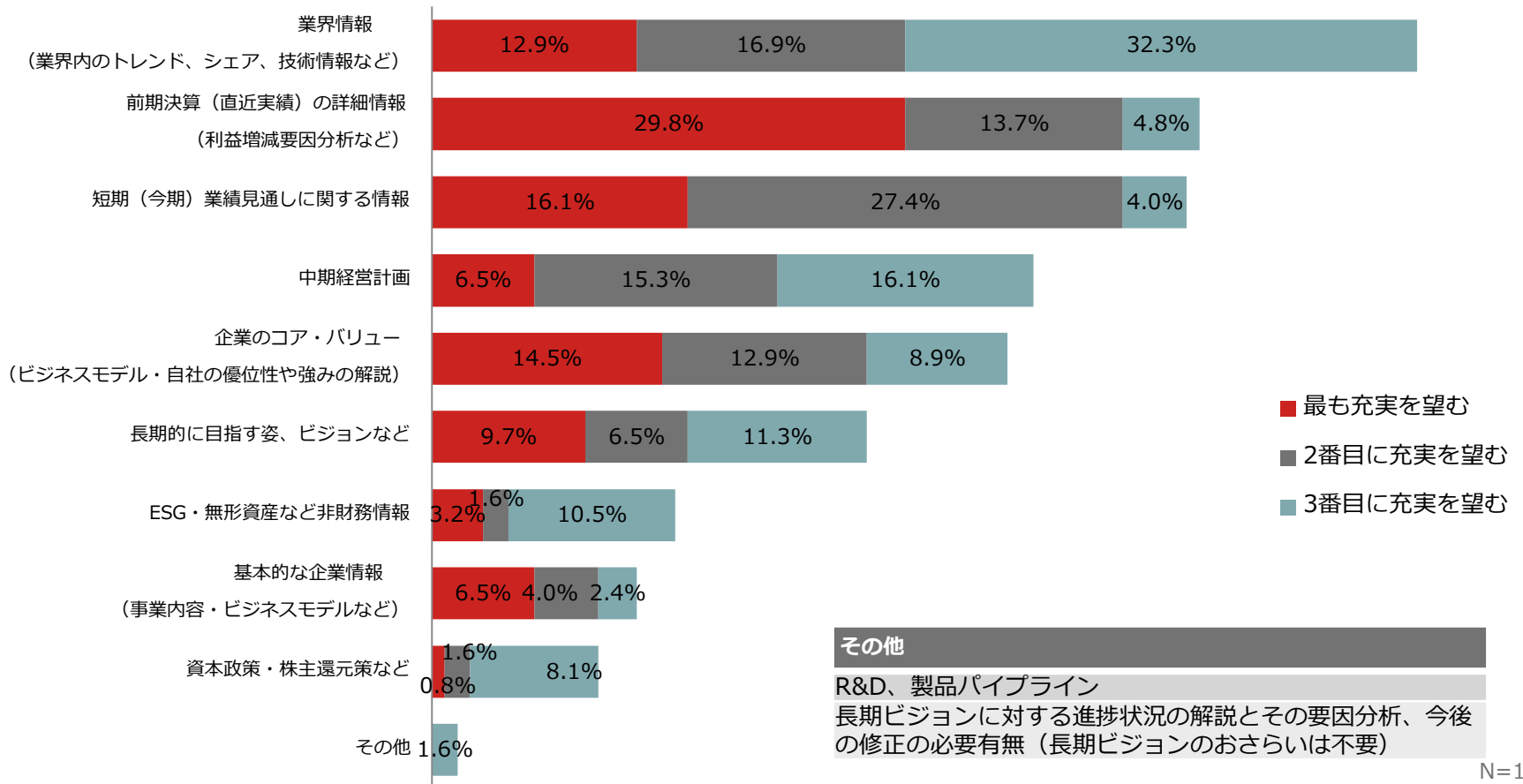
N=115

本資料は、ご参考のために野村インベスター・リレーションズ株式会社が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、野村インベスター・リレーションズ株式会社はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は野村インベスター・リレーションズ株式会社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

# 説明会資料及びプレゼンテーションで充実を希望する内容（参考）

## 2020年調査

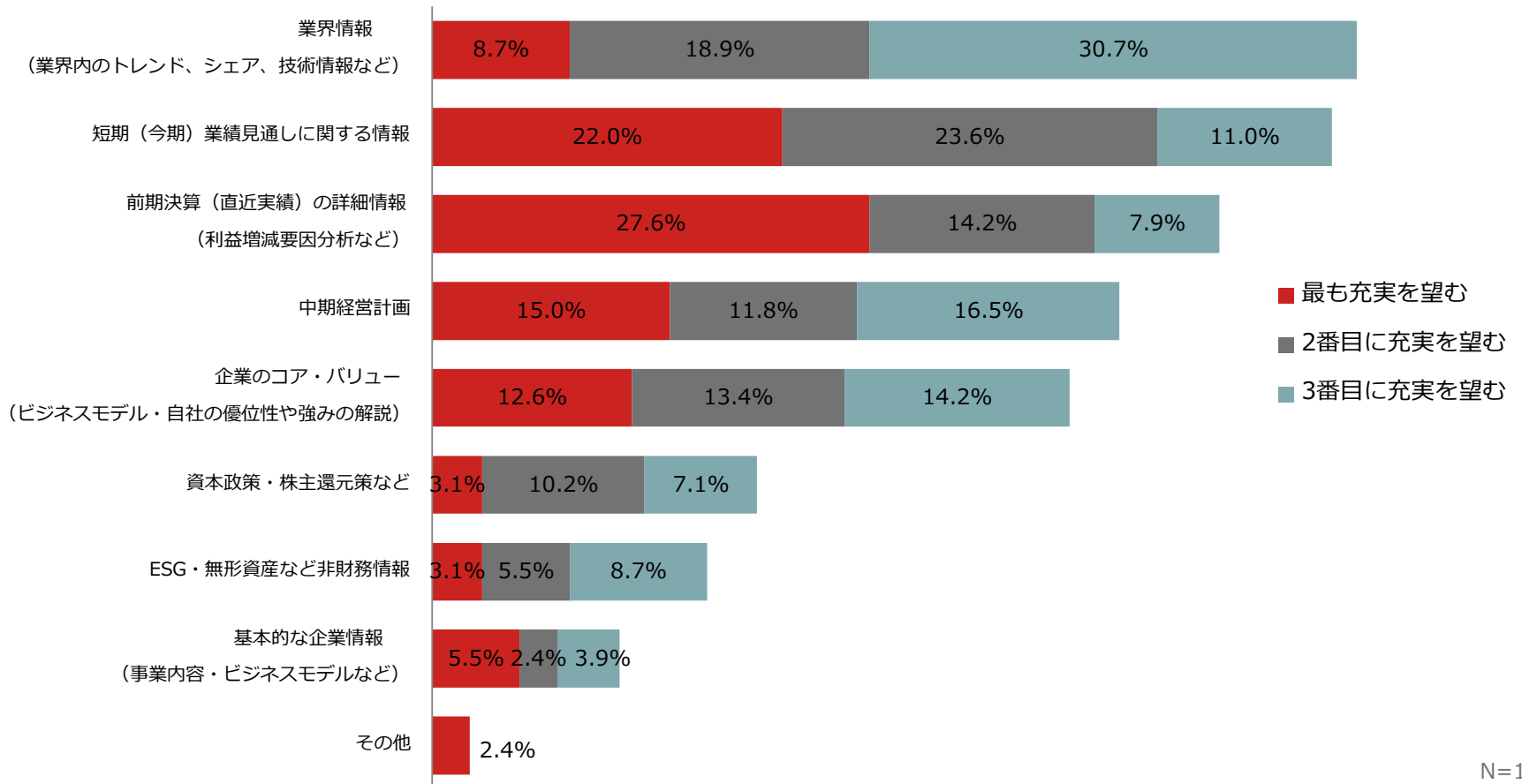
説明会の資料及びプレゼンテーションで充実または追加して欲しい内容は何ですか？重視する順に3つ挙げてください



# 説明会資料及びプレゼンテーションで充実を希望する内容（参考）

## 2019年調査

説明会の資料及びプレゼンテーションで充実または追加して欲しい内容は何ですか？重視する順に3つ挙げてください



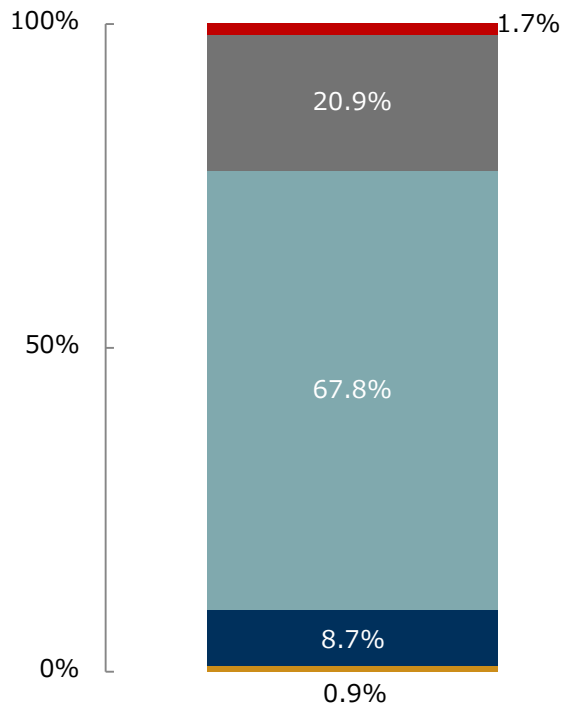
N=127

本資料は、ご参考のために野村インベスター・リレーションズ株式会社が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、野村インベスター・リレーションズ株式会社はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は野村インベスター・リレーションズ株式会社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

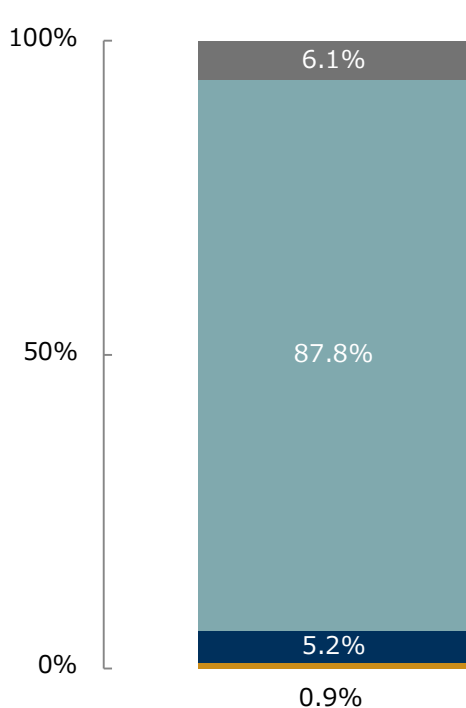
# 所属機関の調査・運用体制について

アナリストは「やや増えた」が「やや減った」を上回る。ファンドマネージャーは増加と減少が均衡傾向。レーティング期間は長期化が短期化を上回る。

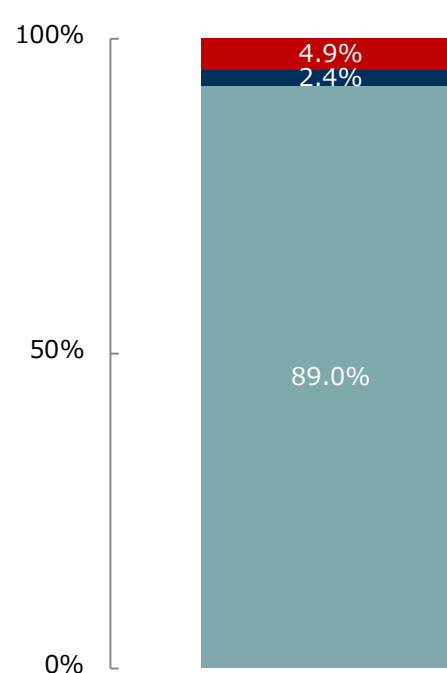
アナリスト（調査専任担当者）数



ファンドマネージャー（運用専任担当者）数



レーティング期間



■ 大幅に増えた ■ やや増えた ■ 変わらない  
■ やや減った ■ 大幅に減った

■ 大幅に増えた ■ やや増えた ■ 変わらない  
■ やや減った ■ 大幅に減った

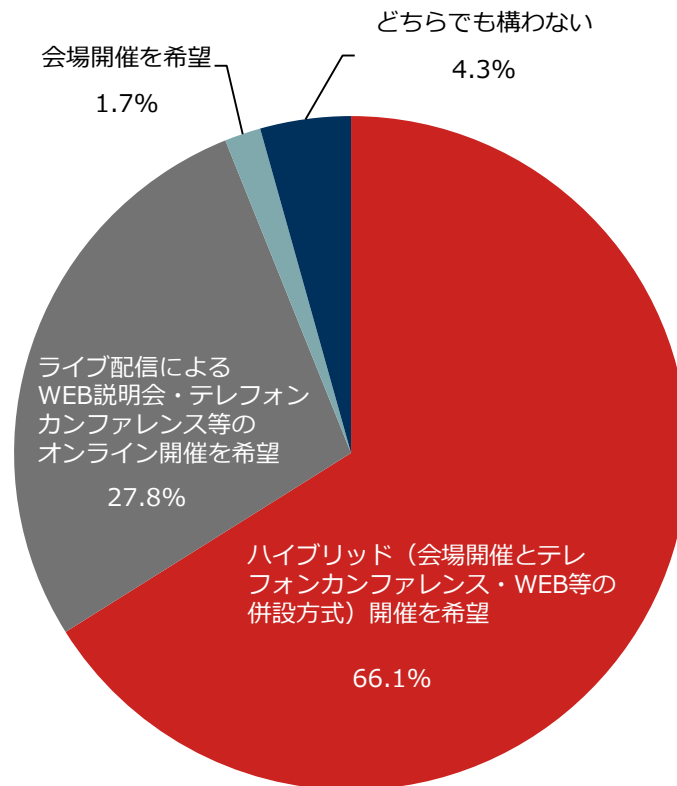
■ 長期化 ■ 短期化 ■ 変化なし

N=115

## 今後の決算説明会の開催方式について

「ハイブリッド開催」「オンライン開催」を合計すると95%近くになり、オンライン化にニーズが極めて高くなっている

昨年はコロナ対策として決算説明会のオンライン化が進みましたが、今後一番好ましい開催方式を教えてください。（回答はひとつ）



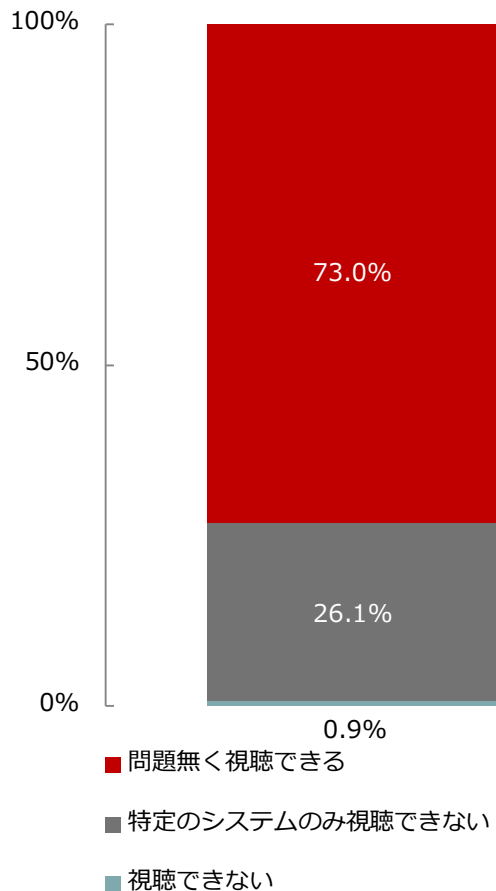
N = 115

本資料は、ご参考のために野村インベスター・リレーションズ株式会社が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、野村インベスター・リレーションズ株式会社はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は野村インベスター・リレーションズ株式会社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送を行わないようお願い致します。

# ライブ配信におけるシステム上の制限について

全て視聴できる割合が7割を超える一方、視聴できないシステム・その他意見から、すべてのシステムに一定数見れない投資家が存在する状況。

ライブ配信による WEB 説明会（WebEx、Zoom等）参加にあたり、システム上の制限はありますか。



N=115

## 視聴できないシステム

Teams	5件
google meet	4件
IRROOM	4件
WebEX	4件
ZOOM	3件
youtube	1件
WEB版音声ライブ配信	1件

## その他

聴講はできるが、Zoomに統一してほしい

WebExが対応しておらず、私物の端末で対応している。WEBページでのライブ配信でも、一部アクセス制限のあるサイトがある。Zoomはカメラとマイクが使えない。

視聴できないものはあったが、システム名を覚えていない

ZOOMは問題なし、Webexはたまに止まる。野村主催のライブ配信は視聴できないこともある。

Zoomが最も望ましく、次いでWebEX。

Webex以外は社内端末では視聴できない。

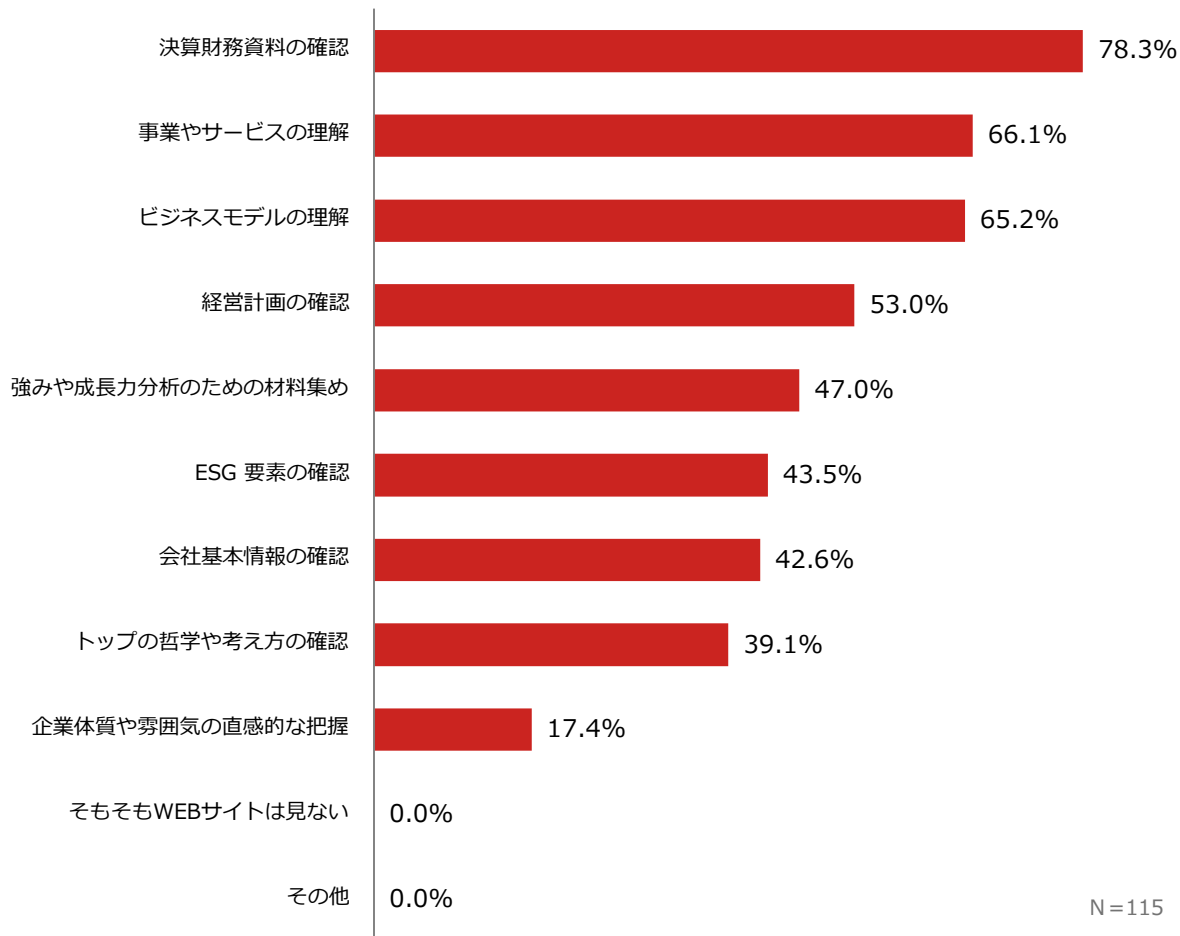
名称は記憶していないのですが、一部マイナーな媒体で視聴できないことがありました

# Webサイトや各種レポートなどの情報発信について

# 企業Webサイトへの訪問理由

HPへの訪問目的は「決算財務資料の確認」「事業やサービスの理解」「ビジネスモデルの理解」等が多い

企業 Webサイトには、何をするために訪問しますか。（複数回答）

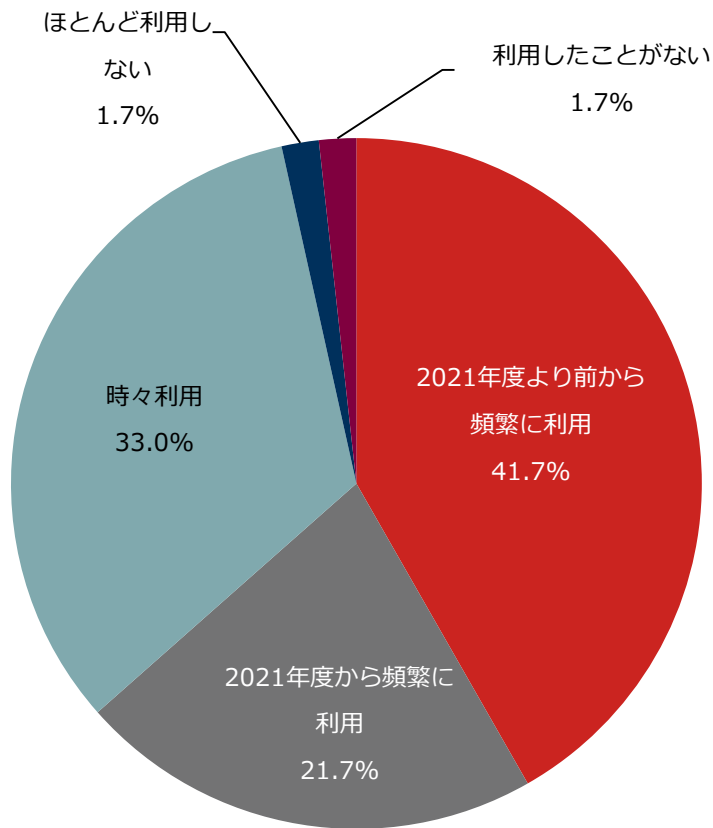


本資料は、ご参考のために野村インベスター・リレーションズ株式会社が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、野村インベスター・リレーションズ株式会社はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は野村インベスター・リレーションズ株式会社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

## 動画・音声コンテンツの利用について

決算説明会の動画（音声）配信を頻繁に利用される方は、「2021年度から頻繁に利用」「2021年度より前から頻繁に利用」割合が多く、利用頻度は高い

決算説明会の動画（音声）配信の閲覧についての利用状況について教えてください



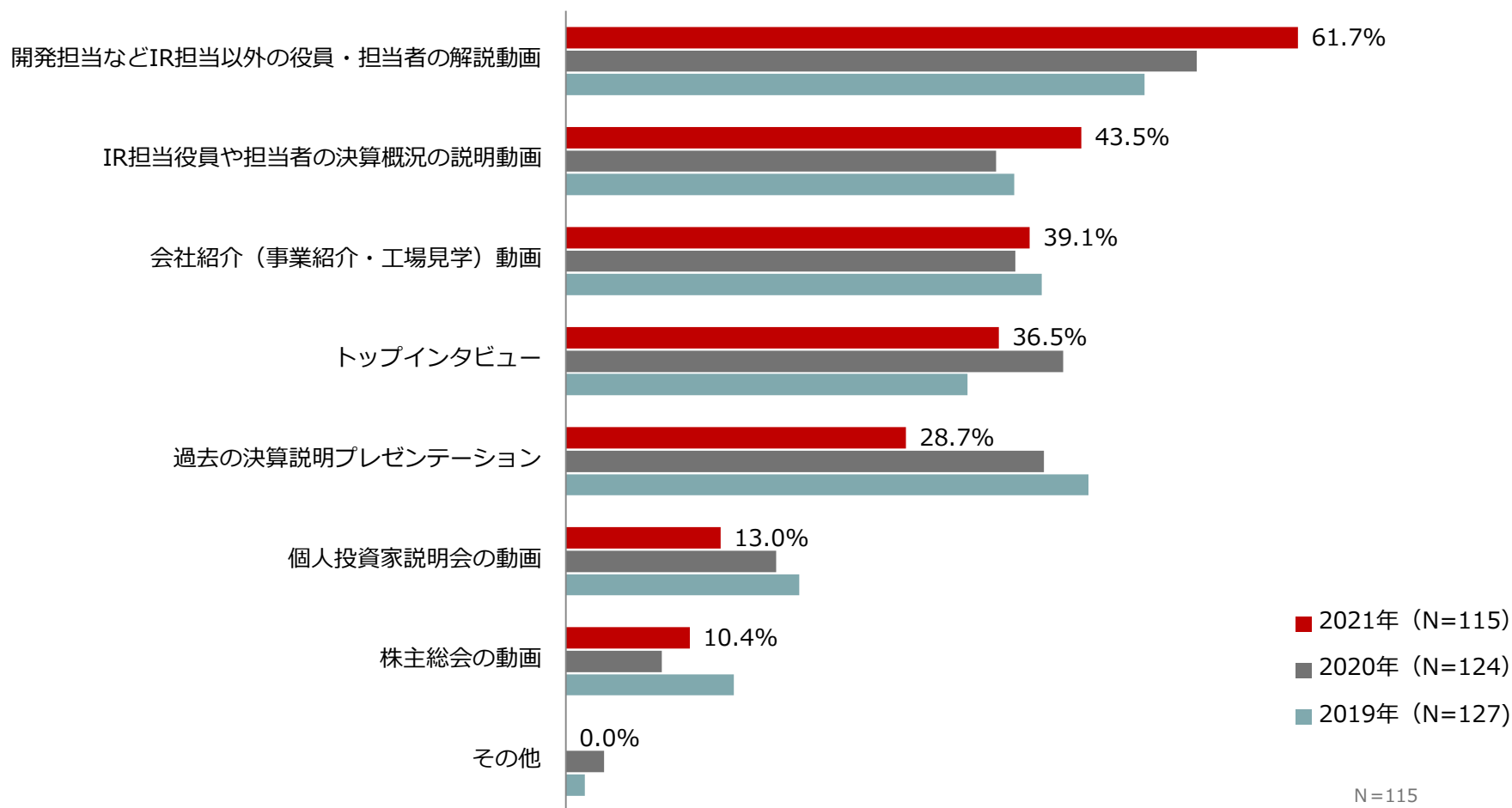
N = 115

本資料は、ご参考のために野村インベスター・リレーションズ株式会社が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、野村インベスター・リレーションズ株式会社はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は野村インベスター・リレーションズ株式会社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

## 動画・音声コンテンツに望む内容

掲載が希望されるコンテンツは「開発担当者など、IR 担当以外の役員や担当者による商品・技術解説」が最上位「IR 担当役員や担当者による決算概況などの説明」も上位に来る

決算説明会以外の動画（音声）コンテンツで掲載されていれば利用したいものは何ですか？（複数回答）



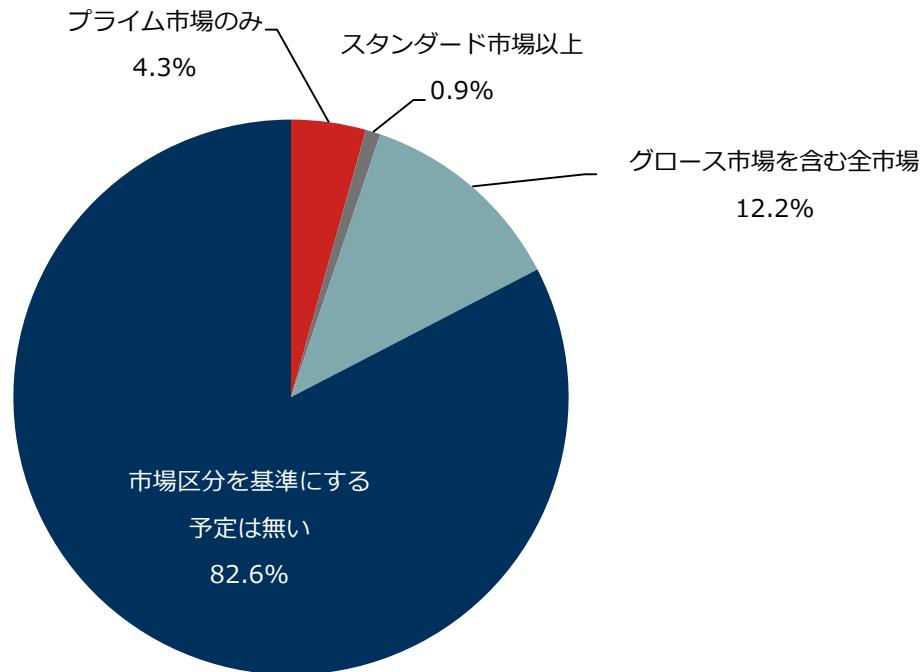
本資料は、ご参考のために野村インベスター・リレーションズ株式会社が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、野村インベスター・リレーションズ株式会社はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は野村インベスター・リレーションズ株式会社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

# 企業分析・銘柄選定に関する考え方等について

# 新市場区分をカバレッジ基準にする予定について

## 8割以上が「市場区分を基準にする予定は無い」と回答

2022年に市場区分の見直しが行われる予定ですが、継続フォロー（カバレッジ）の基準として「市場区分」を基準とされる予定の場合には以下より選択してください。



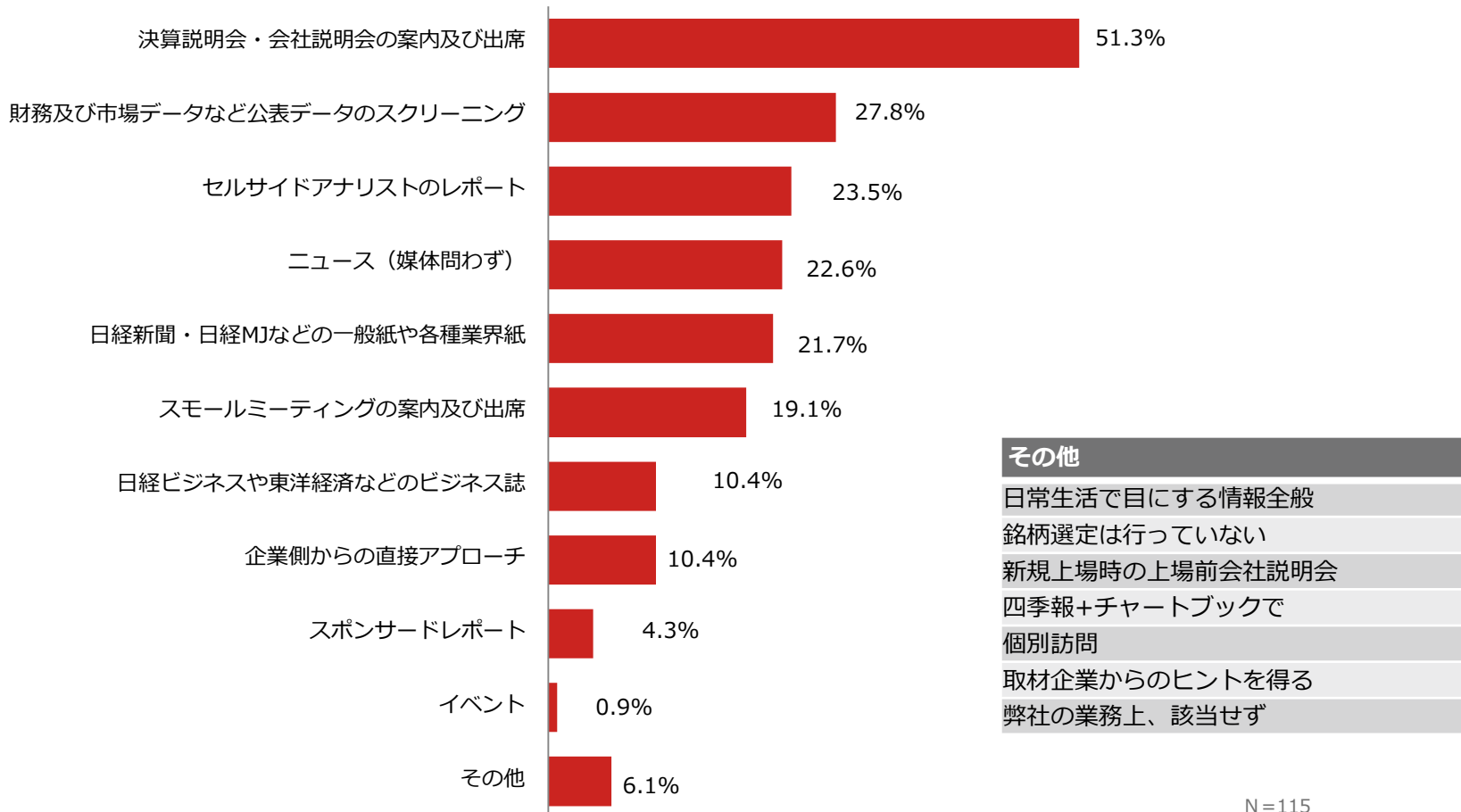
N=115

本資料は、ご参考のために野村インベスター・リレーションズ株式会社が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、野村インベスター・リレーションズ株式会社はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は野村インベスター・リレーションズ株式会社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

# 新たな銘柄発掘の際の情報収集先

決算説明会や会社説明会をきっかけに新規銘柄を発掘するという回答者の割合は、全体の5割を占める

新しい投資銘柄を探す時、活用する情報源を教えてください。（3つまで選択）

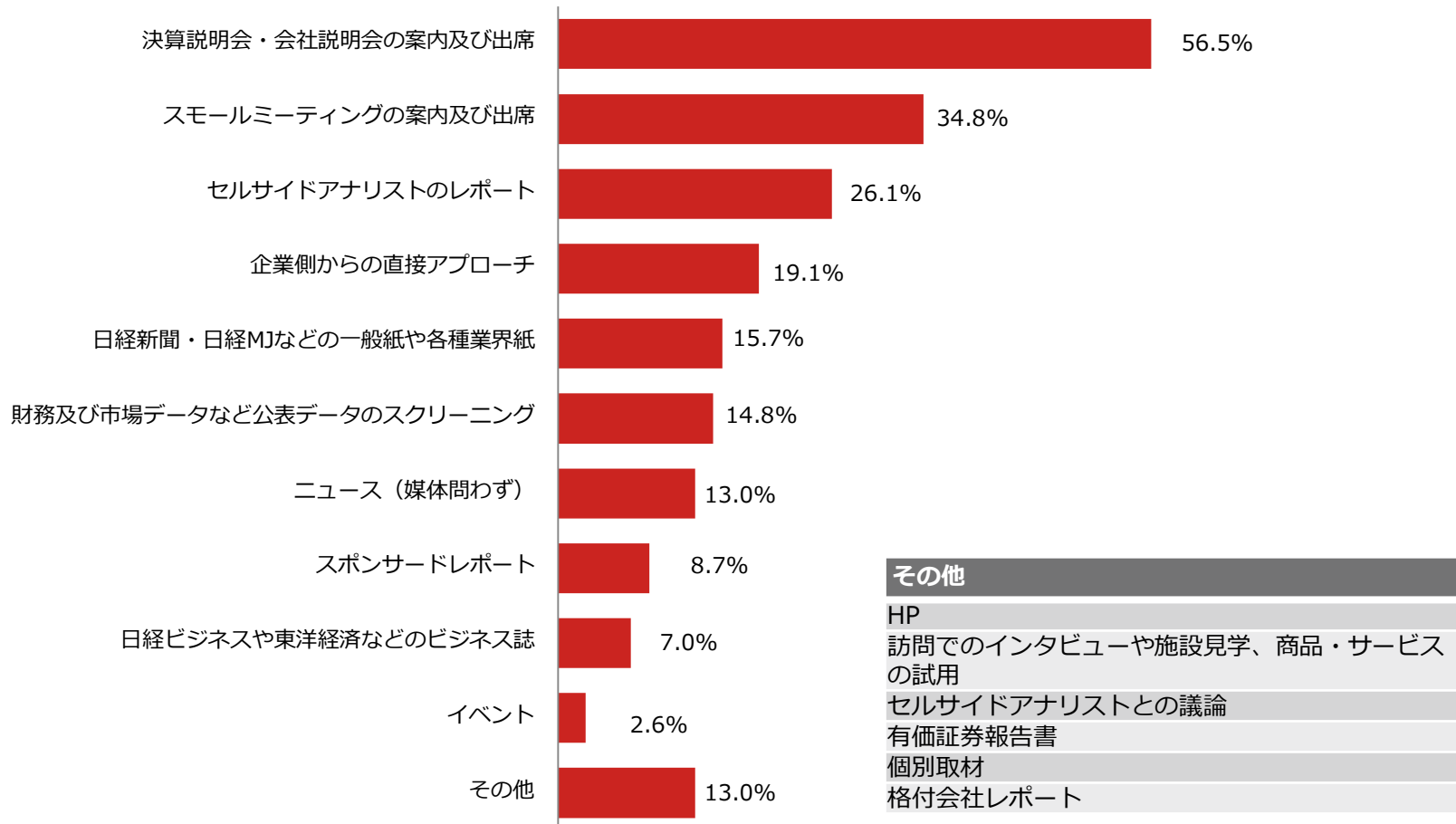


本資料は、ご参考のために野村インベスター・リレーションズ株式会社が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、野村インベスター・リレーションズ株式会社はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は野村インベスター・リレーションズ株式会社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

## 関心を持った投資銘柄の情報収集先

関心を持った銘柄への情報源も「決算説明会・会社説明会の案内及び出席」が5割を占め、「スモールミーティングの案内及び出席」も割合が増加する

関心を持った投資銘柄の、さらに詳しい情報を得るために活用する情報源を教えてください。（3つまで選択）



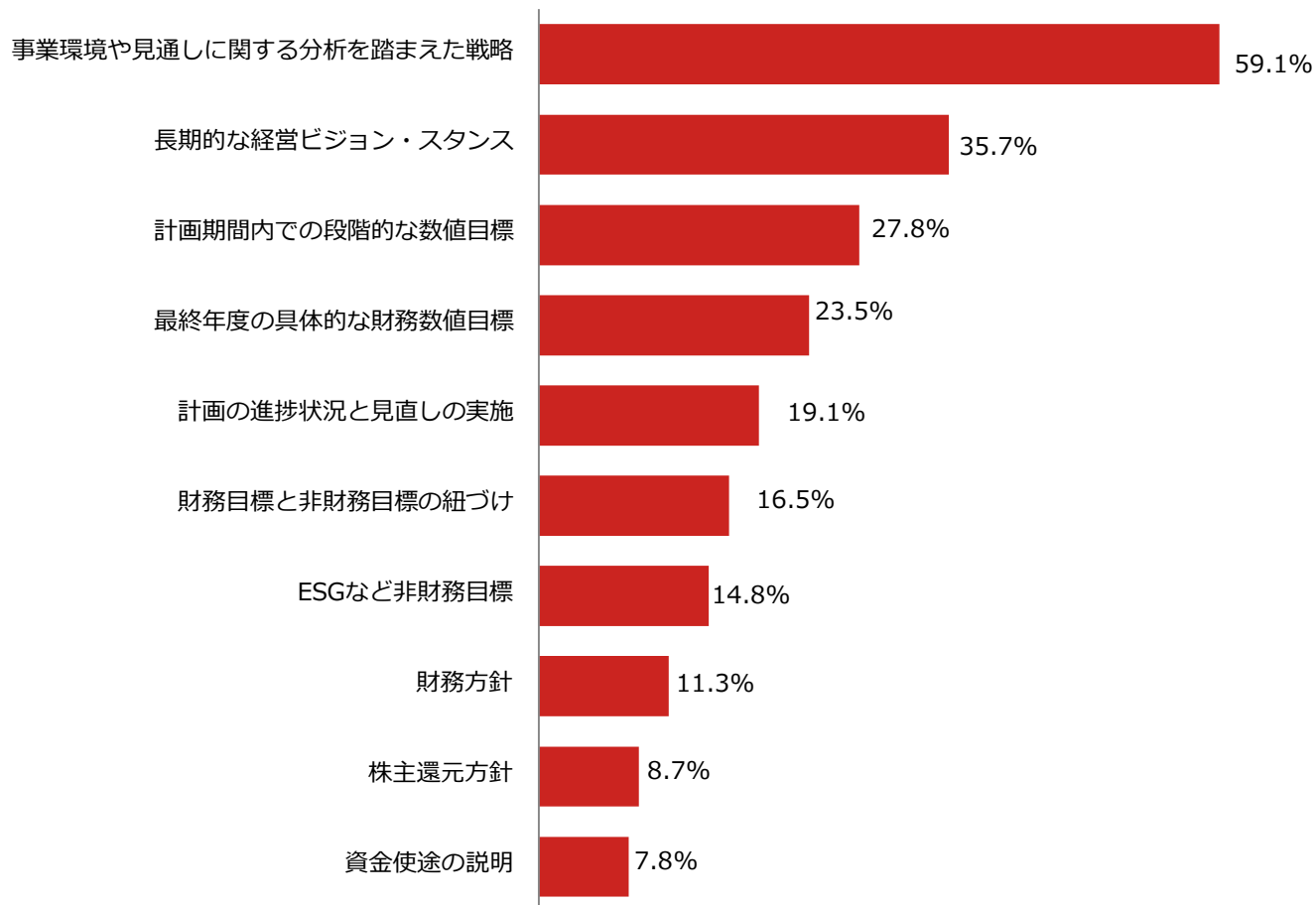
N=115

本資料は、ご参考のために野村インベスター・リレーションズ株式会社が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、野村インベスター・リレーションズ株式会社はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は野村インベスター・リレーションズ株式会社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

## 中期経営計画に求める要素

中期経営計画で求める要素は、「事業環境や見通しに関する分析を踏まえた戦略」が6割弱に上る。

中期経営計画の内容充実に向けて改善すべきものをお聞かせください。（3つまで選択）



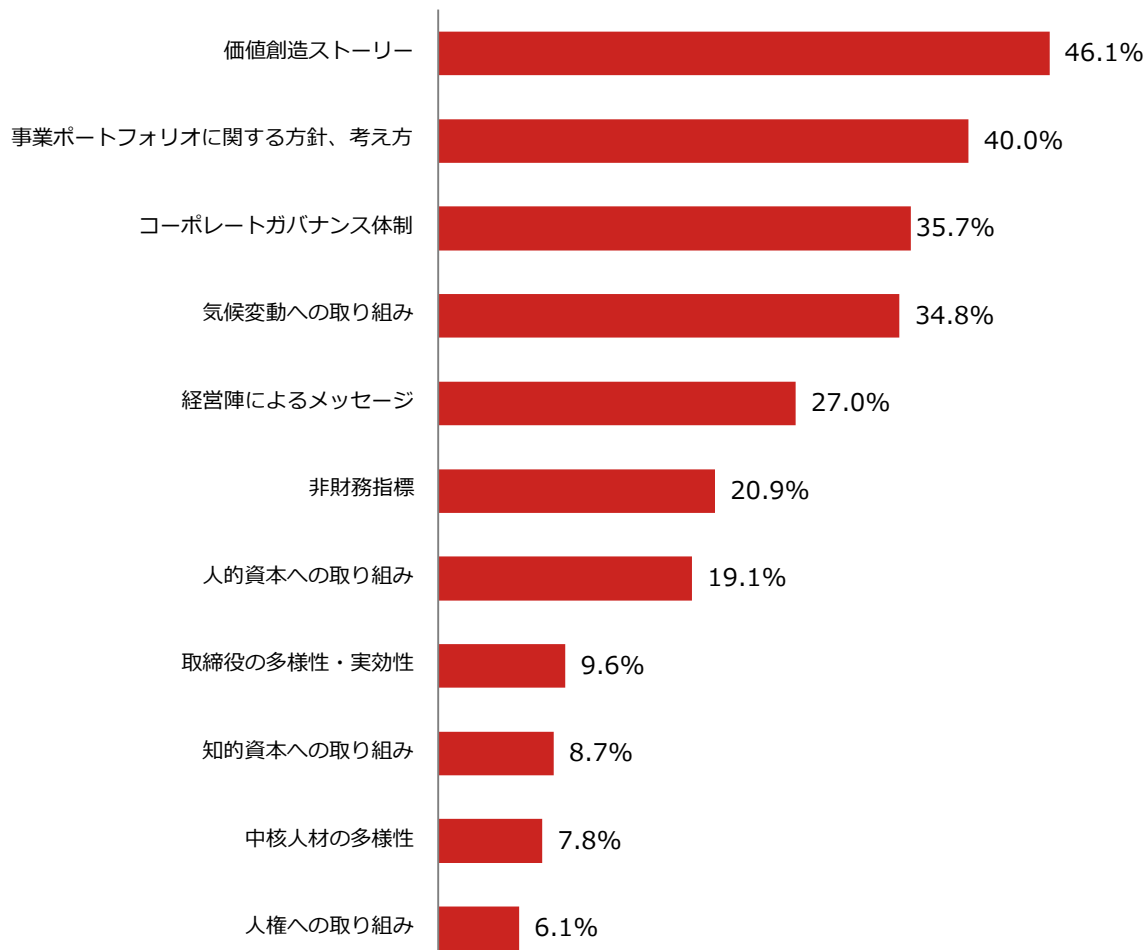
本資料は、ご参考のために野村インベスター・リレーションズ株式会社が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、野村インベスター・リレーションズ株式会社はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は野村インベスター・リレーションズ株式会社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

# 企業のESG/サステナビリティ開示について

## サステナビリティ開示で重視する要素

求める項目として「価値創造ストーリー」が最も多く、「事業ポートフォリオに関する方針、考え方」「コーポレートガバナンス体制」が続く

サステナビリティ（ESG 要素を含む中長期的な持続可能性）を見るうえで何を重視しますか（3つまで選択）



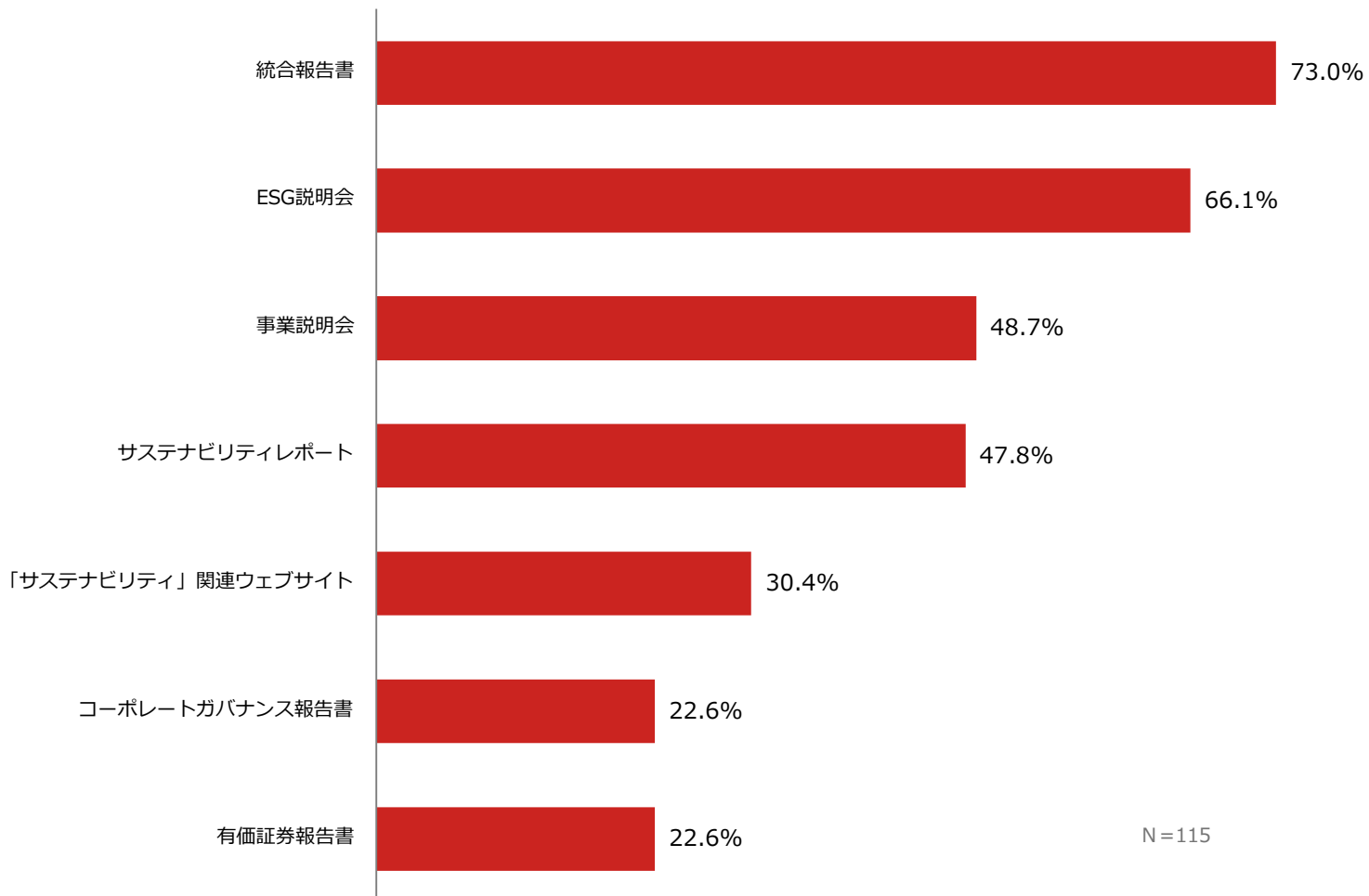
N=115

本資料は、ご参考のために野村インベスター・リレーションズ株式会社が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、野村インベスター・リレーションズ株式会社はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は野村インベスター・リレーションズ株式会社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

## サステナビリティ情報の取得源

サステナビリティ情報の取得源として、「統合報告書」、「ESG説明会」の2項目の割合が高い

企業のサステナビリティ（ESG 要素を含む中長期的な持続可能性）を知るための情報源として何を活用していますか（複数選択）



本資料は、ご参考のために野村インベスター・リレーションズ株式会社が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、野村インベスター・リレーションズ株式会社はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は野村インベスター・リレーションズ株式会社に属しており、電子的または機械的方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

本資料は、ご参考のために野村インベスター・リレーションズ株式会社が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、野村インベスター・リレーションズ株式会社はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は野村インベスター・リレーションズ株式会社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。